



自己紹介

大淵由貴（おおぶちゆき）1988年東京都江戸川区出身。千葉大学法経学部総合政策学科卒。大学時代は環境NGOの活動に従事、また休学してバンクーバーでワーホリを経験。卒業後、電機メーカーで5年間営業を勤め、会社を退職して青年海外協力隊としてマダガスカルで活動中。

アルアル

イサロのトレイルランの入賞者にはトロフィーまたは木彫りの工芸品が賞品として用意されました。外国人参加者も多い大会です。トロフィーも良いですが、お土産にもなるマダガスカルの工芸品は嬉しい賞品でした。私はアルアルと呼ばれる木彫りの飾り物をいただきました。（他にはイサロの窓の木彫り等もありました。）



イサロ国立公園トレッキング

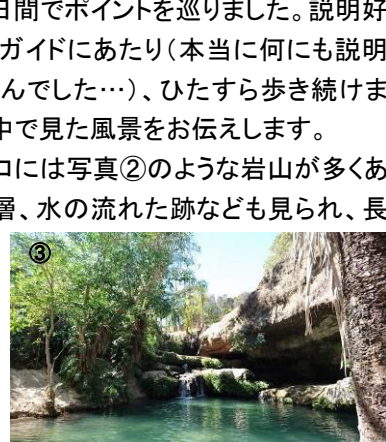
～それから壮大な景観の中でトレイルラン～

「マダガスカルのグランドキャニオン」と呼ばれることもあるイサロ国立公園に行ってきました。移動には公共交通機関とレンタカーを使い、任地から首都を經由し丸3日かかります。イサロに向かう道はとてダイナミック。平原もあれば岩山もあり、最後の直線道路は圧巻です(写真①)。公園面積は東京23区よりも広く、ガイドブックによると全部見て回るには7日かかるそうですが、今回は2日間でポイントを巡りました。説明好きではないガイドにあたり(本当に何にも説明がありませんでした…)、ひたすら歩き続けました。その中で見た風景をお伝えします。



い年月をかけて変化してきたのだと感じます。

天然プール: 溪谷を歩いていった先に、急に現れた天然プール(写真③)。近くでご飯を食べる人、泳ぐ人など憩いの場になっていました。水は冷たかったです…。



ミニバオバブ: マダガスカルと言えばバオバブ！こちらは並木で有名な、人の何倍もの高さがある種類とは違い、ひざ下かそれより小さい大きさでした(写真④)。

イサロの窓: 有名な夕日スポットです。実は公園の外にあり、車で近くまで行くことができます(写真⑤)。

ヘトヘトになりながらも壮大な風景に感動しっぱなしのトレッキングでした。これだけ面白い景観をしているイサロですので、説明好きなガイドを選べると良いですね。



トレッキングを2日間した後にトレイルラン大会に参加しました。45kmと25kmのコースがあり、私は25kmに参加しました。前日までは暑かったのですが、当日は涼しくマラソン日和。総合、年齢別などの入賞枠が用意されていて、それぞれ対象者が重ならないように表彰してくれます。



25km、女性、18-35歳の部で1位になることができました！学生時代、体育の成績は底辺だったのでスポーツで1番になるなんて人生初の経験です♪日本のトレイルランの大会は猛者だらけでこうはいかないと思うので、別の国で大会に出てみるとやる気が出るかもしれません。(写真左：完走メダル)